絶句［送別・望郷］

【送元二使安西】　王維

(1) (a)この詩の季節を答えなさい。また、(b)その根拠となる語句を詩中から**五字**で抜き出しなさい。

(a)

(b)

(2)「渭城軽塵」（一五〇・3）とは、どのような情景を詠んでいるか説明しなさい。

(3)「無故人」（一五〇・4）の意味として適当なものを、次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　死んでしまった人は、どこにもいるはずがないから。
イ　死んでしまった人の面影も消えてしまうだろうから。
ウ　古くからの友人は、そこにはいないだろうから。
エ　古くからの友人の努力は、無駄になるだろうから。

(4) この詩に表現されている心情として適当なものを、次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　友人と一緒に旅行できないことを残念に思う心情。
イ　遠くに旅立つ友人との別れを惜しむ心情。
ウ　遠くに左遷される友人を励ます心情。
エ　遠くに旅立つ友人との思い出を懐かしむ心情。

【勧酒】　于武陵

(1) 于武陵と同じ晩唐に活動した詩人を、次の中から**一人**選んで記号で答えなさい。

ア　杜牧　　イ　孟浩然　　ウ　駱賓王　　エ　元稹

(2)「満酌不須辞」（一五〇・8）を、分かりやすく現代語訳しなさい。

(3) この詩の解釈として適当なものを、次の中から**全て**選んで記号で答えなさい。

ア　親しく酒を酌み交わすような人であっても、いつ仲たがいすることになるか分からないという、人間関係の難しさを詠んでいる。
イ　親しく酒を酌み交わすような人であっても、いつかは別れなければならない時が来てしまうという、惜別の思いを詠んでいる。
ウ　人生には人との別れがつきものだが、杯を交わすことのできている、今この時を楽しもうという思いを詠んでいる。
エ　人生には人との別れがつきものだが、勧められた酒を断ることで、人との別れを少なくすることができるから、できるだけ断るのがよいという助言を詠んでいる。

(4) 日本の小説家である井伏鱒二は、この詩を訳して、以下のように表現した。これは第何句の訳か。漢数字で答えなさい。

「サヨナラ」ダケガ人生ダ

第　　句

【涼州詞　王翰】

(1) この詩の形式を答えなさい。

(2)「琵琶馬上催（ニ・ス）」（一五一・3）は、解釈の仕方が二とおりある。どのような意味か、それぞれ**五字以内**で答えなさい。

(3)「君莫笑（カレ・フコト）」（一五一・4）とあるが、

(a)「君」とは誰のことか。適当なものを、次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　琵琶を弾く人　　イ　辺境の兵士
ウ　詩の作者　　エ　詩の読者

(b) 何を「莫笑（カレ・フコト）」と言っているのか。現代語で書きなさい。

(4)「古来征戦幾人回（カ・ル）」（一五一・4）に込められた心情として適当なものを、次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　辺境の兵士たちの悲痛な気持ち。
イ　昔の人を懐かしむ気持ち。
ウ　戦功をあげようとはやる気持ち。
エ　酒と音楽を楽しむ気持ち。

【静夜思　李白】

(1) 押韻している漢字を詩中から**全て**抜き出しなさい。

(2)「疑是地上霜（フラ・クヘレ・ノ・カト）」（一五一・7）の意味として適当なものを、次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　月の光を見ると、故郷の地に降りた霜の白さを思い出す。
イ　月の光はまるで地上に降りた霜のように思われる。
ウ　月の光に照らされた地上に霜が降りている。
エ　月の光は銀色に輝き霜に覆われている。

(3) 作者が「牀前」の月光を見て、「地上霜」だと思ったのはなぜか説明しなさい。

(4) 次の文は、この詩の第三句と第四句について説明したものである。空欄にあてはまる語句を補って文を完成させなさい。

頭を上げて山の端に昇っている［A］を仰ぎ見ると、同様に［A］を眺めているであろう［B］のことが思い起こされると詠み、［A］を媒介にして［C］の念が表現されている。